

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
定時株主総会	毎年6月中	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のインターネットで24時間承っております。 インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日		
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日		
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることが出来ない場合は日本経済新聞に掲載して行う。		※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみのみお取扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		

Shareholder Special Benefit

株主優待

毎年9月30日を基準日に、「株主優待制度」を実施しています。

当社は業績に連動した配当を基本にしておりますが、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、9月30日を基準日とした株主優待制度を導入しています。

制度の概要

対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

次のとおり、保有株式数に応じて、優待品を贈呈いたします。

株主優待の内容

保有株式数	優待の内容
100株以上 1,000株未満	選べる優待品 1,500円相当
1,000株以上 5,000株未満	選べる優待品 3,000円相当
5,000株以上	選べる優待品 5,000円相当

「オリジナルカタログ」
のお届け時期

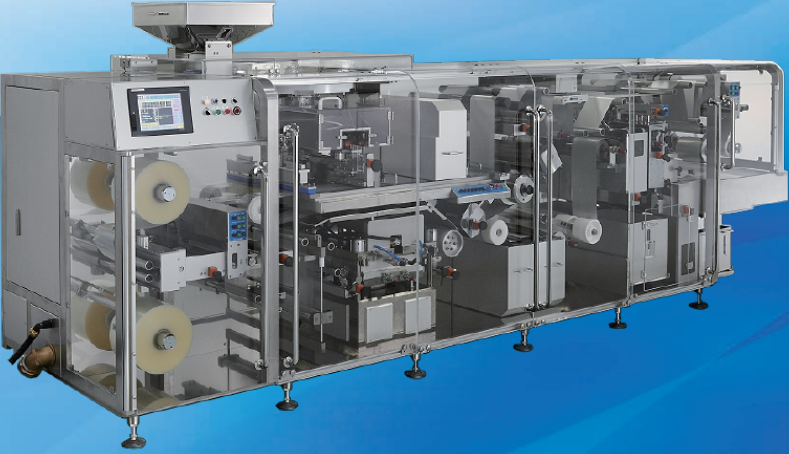
毎年12月上旬に、普通郵便にて「株主優待のご案内(オリジナルカタログギフト及びお申込み専用はがきとセット)」
「個人情報保護シール」を同封した封書をお送りします。



※各カタログの内容は変更される場合があります。

第74期報告書

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日



Engineering Professional

- Engineering
- Manufacturing
- Maintenance
- Trading

次のステージを見据えた改革を推進

現在、当社グループを取り巻く経営環境は、大きく変わってきております。
従来の路線では持続的成長は望めず、変化に向き合う自らの変革を進めてまいります。



代表取締役社長 榎本 洋
代表取締役会長 三浦 隆

Q.1 まずは、近況の経営環境について ご認識をお聞かせください。

市場の縮小予測の中、従来の垣根を越えた競争が激化

当社グループは、医薬品業界を主たる事業領域とし、4つの機能をベースに顧客の設備投資ニーズに総合的に応えることで成長してまいりました。こうした中、近況の市場・業界環境は大きく変わりつつあります。まず、当社グループ事業の主要顧客であります医薬品メーカーにおいては、国の財政難を背景とした医療費抑制の流れの中で、設備投資を控える傾向があります。また、かつて小規模であった国内機械メーカーも力をつけ、直接、医薬品メーカーと取引を行うようになってきております。当社が力を発揮してきた一連ライン(異なるメーカーの機器などをつなぎ合わせた生産ライン)においても、機械メーカーが協力してライン構築を図る協業が動き出しております。さらに、大規模な設備投資においては、エンジニアリング力を強化してきたゼネコンの参入が見られ、当社グループにとって非常に厳しい状況が生まれております。しかしながら、市場規模においては、現状の医薬品市場が約10兆円と、当社グループのこれからの成長に十分な規模があります。また、各医薬品メーカーも選択と集中を進める中で生産性の向上を求め、先進機械の導入に意欲を示すとともに、依然として

総合的サポートを要望しております。ここにチャンスがあります。

これまでの医薬品製造設備関連の受注には、エンジニアリング業務を軸とした一連ライン構築能力で差別化が出来ていましたが、機械メーカー・ゼネコンも着実に力をつけ、これまでのような差別化が難しくなっており、あらためてその会社にしか提供できないコトを切り口にした提案が求められる時代が到来したものと認識しております。ミューチュアルは、この市場の変化に向き合い、当社にしか提供のできないコトを見定め、自らを変革することで、このチャンスを掴み取ってまいります。

Q.2 それでは、変化に対応する中長期の方向感をお話してください。

競争優位の原点に立ち戻る

当社は、1961年に包装機械販売を開始して以来、海外の優れた機械の、主として国内の独占販売権を取得し、アフターサービスも提供できる技術系専門商社として、業界に地位を築いてまいりました。その後、輸入機械をお客様のニーズに合わせてカス

タマイズするテラーメイド(開発・製造)機能を磨き、日本に1台しかない、言い換えれば、当社にしか売れないモノをつくりだしてまいりました。今、業界が成熟化し競争が一段と厳しくなる中、この他社には扱うことのできない商品(輸入機械・自社機械)を切り口に顧客へ提案していくことで競争優位(差別化)の原点に立ち戻ります。

一方、持続的成長を叶えていくには成長ドライバーとなる新しい事業展開が必要であり、当社グループではそれを海外市場に求めてまいります。現在においても国内市場で高い評価を獲得している自社製品がありますが、これらを競争力ある製品として海外に販売してまいります。対象地域としては中国をはじめとするアジアを念頭に置いており、現地でのネットワークづくりを推し進めてまいります。

Q.3 方向感実現に向けた、具体的な取り組みについてご説明をお願いします。

売るべきモノを売る体制づくり

医薬品業界において長い歴史を持つ当社グループは、お客様との信頼のパイプを持ち、“のれん”の力も持ち併せております。しかしこの結果、“のれん”の力に頼る受け身の営業となっていることも否めません。中長期の方向性として「攻め」を基軸に据える中、当面の最大の課題はこの受け身の姿勢を打破する意識改革にあります。本年度期初に当社グループが独占販売権を持つ海外機械及び競争優位性の高い自社製品を専門に提案していく特別営業部隊を創設いたしました。ベースとなる意識改革が進んでおらず十分には機能いたしませんでした。こうした中、人事評価制度改革などを実施し、リーダークラスの意識改革に取り組んでおります。この意識改革の下、新規顧客開拓、自社開発商品や優れた輸入商品を売り込んでいく実効性の高い営業部隊をつくり上げてまいります。また、海外展開につきましては、事業基盤の構築を目指し、本年4月20日に初めて中国での展示会に出展するな

ど本格参入への準備を着実に進めております。一方、逼迫する雇用環境を背景に「働き方改革」にも取り組んでおり、生産性向上にも努めてまいります。当社グループは、このような施策を通じ当社にしか売れないモノを売っていく体制を構築してまいります。

Q.4 最後に当期の業績についてお話しください。

減収減益に終わるが、来期(2018年度)はV字回復を見込む

当連結会計年度の状況につきましては、顧客現場での生産性向上強化に向けた設備提案を積極的に行うとともに、デモ機やテスト装置を充実させ提案営業を強化いたしました。しかしながら、前期に後発医薬品メーカー向けの大口案件の計上があったことの反動及び医薬品メーカーの設備投資が一時停滞した影響を受けました。

この結果、売上高は、前期比31.7%減の83億円、損益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により1.8ポイント改善いたしましたが、減価償却費等の増加により販売費及び一般管理費が増加し営業利益が前期比69.9%減、親会社株主に帰属する当期純利益も、前期比71.9%減の224百万円となり、誠に遺憾ながら減収減益となりました。なお、1株当たりの配当金につきましては、前期と同額の25円とさせていただきます。

2018年度の売上高予想につきましては、これまでの営業努力が着実に成果を生み出してきており、受注が順調に積み上がっていることからV字回復の108億円を見込んでおります。また、お陰様で来年2月に創立70周年を迎えることとなり、2018年度の期末配当は、記念配当5円を加え、年30円の配当を予定しております。

株主の皆様におかれましては、変化に対応し変革を進めるミューチュアルに、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

財務ハイライト

		2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3
売上高	連結	9,465	11,317	12,555	12,219	8,350
営業利益	連結	578	918	920	1,228	369
経常利益	連結	693	987	956	1,261	472
親会社株主に帰属する当期純利益	連結	345	558	598	798	224
総資産	連結	12,089	14,628	15,167	13,481	13,473
純資産	連結	7,579	8,142	8,701	8,694	8,846
発行済株式総数(千株)	単体	7,620	7,620	7,620	7,620	7,620

単位：百万円

セグメント情報

	2016/3	2017/3	2018/3
産業用機械事業	11,953	11,674	7,773
一連ライン	1,875	2,767	316
製剤機	2,032	907	164
充填機	2,344	2,167	1,728
検査装置	1,590	983	683
包装機	1,706	2,250	1,577
部品	807	942	1,357
改造・調整・修理	1,596	1,654	1,945
工業用ダイヤモンド事業	540	474	503
その他事業	61	69	73
合計	12,555	12,219	8,350

単位：百万円

株式の状況 (2018年3月31日現在)

株式基本情報

発行可能株式総数	17,000,000 株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320 株 (1,168,393 株)
株主数	8,924 名

大株主

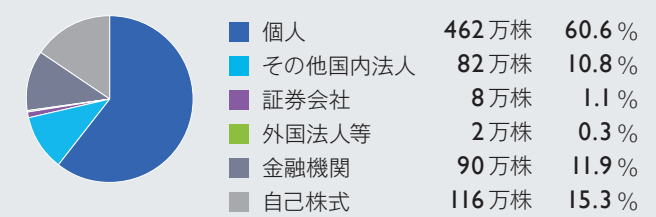
	持株数	持株比率
MTC社員持株会	452千株	7.0%
有限会社エム・ティ・シー開発	393千株	6.1%
株式会社三井住友銀行	322千株	5.0%
ミューチュアル取引先持株会	286千株	4.4%
株式会社三菱東京UFJ銀行	264千株	4.1%
三浦 隆	205千株	3.2%
三浦 雅子	199千株	3.1%
豊田 容梨子	174千株	2.7%
森崎 真規子	173千株	2.7%
三浦 浩一	151千株	2.3%

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日に商号を変更し、株式会社三菱UFJ銀行となりました。

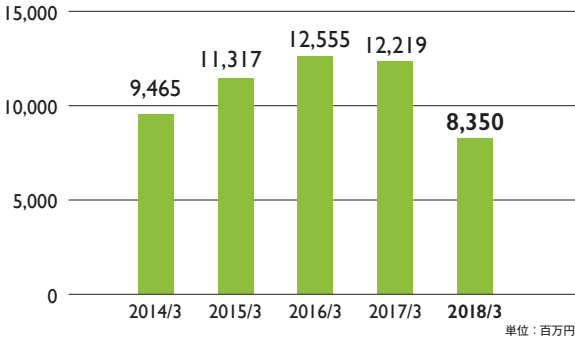
所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況

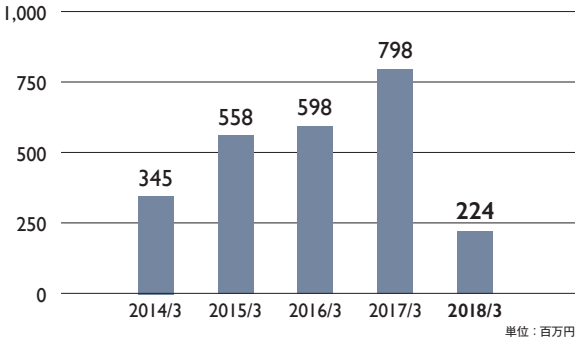


売上高



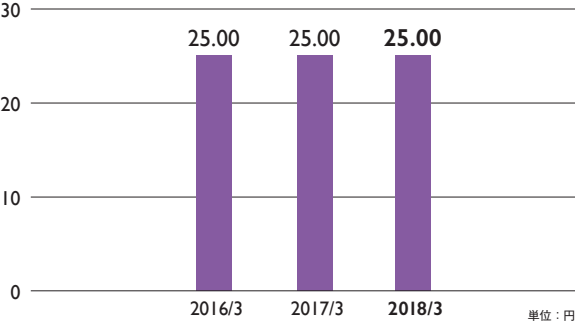
単位：百万円

親会社株主に帰属する当期純利益



単位：百万円

1株当たり配当金



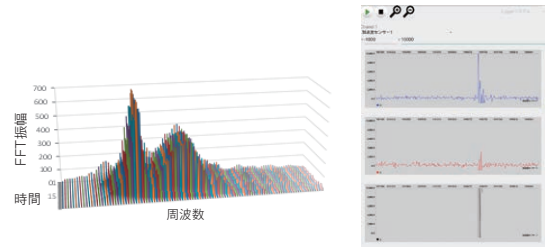
単位：円

トピックス

期待の製品群

状態監視システム
MUDIS(ミューディス)

業界初の設備保全を目的とした、AI稼働状態モニタリングシステムです。突発的な故障の防止や安定的な稼働を実現、同時に計画的な保守・メンテナンスや予備部品購入などの管理が可能、また、蓄積されたデータ解析により、業務品質や属人的な技術情報の標準化を図れ、製品品質と生産効率の向上への活用が期待されます。



錠剤・カプセル兼用外観検査機
PLANET4.8 シリーズ

錠剤専用、カプセル専用だけではなく、錠剤・カプセル兼用機がある外観検査機です。8台の2Dカメラ、2台の3Dカメラを搭載、他社に無い独創的な機構を採用することによって、部品交換を行うことなく検査が可能です。また、機械本体はcGMP対応のスタイリッシュな設計を採用、大型で使いやすい操作パネルにより被検査品目の変更も約30分で可能です。



密封製品用ピンホール検査機
Torerude(トレルデ)

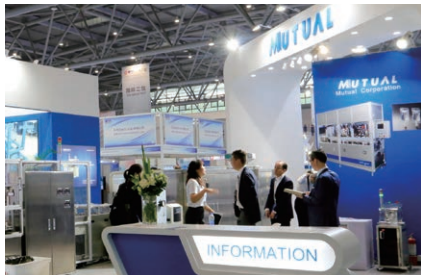
医薬品業界だけではなく、食品業界への深耕を目的に取り扱いを開始した小型検査機です。特許の帯電方式により、麺つゆや袋詰めの漬物等の密封製品を破壊することなく、極小の穴(ピンホール)を検知します。また、従来機よりコンパクトであり、部品等の交換が簡単にできるよう設計されています。



展示会

第55回 CIPM(全国製薬機械博覧会、中国／重慶)

初出展となる海外展示会で、世界各国から約1,200社が出展、約60,000人が来場する世界最大級の医薬品製造機械展です。当社は、中国市場の展開を目的に「PTP包装機PRESTA6000+集積機」、「PTP包装機搭載型シート外観検査機」や「ピンホール検査機Torerude(トレルデ)」といった実機出展に加え、「フィルム成形充填包装機PRESTA-LIQUID」「IJ方式錠剤印刷・検査機IIM(ツアーアィム)」等のサンプル出展を行いました。初出展にも拘らず、現地の製薬会社に加えて商社も多数来場、また、中国における包装や検査事情の調査も行え、今後の販売促進に極めて有効な展示会となりました。



開催期間:2018/4/20～4/22
開催場所:重慶国際博覧中心(中国)

会社情報

会社概要		(2018年3月31日現在)		役 員		(2018年6月26日現在)	
社 名	株式会社 ミューチュアル			代表取締役会長 兼 CEO	三 浦	隆	
会 社 設 立	昭和24年(1949年) 2月14日			代表取締役社長	榎 本	洋	
資 本 金	6億6,970万円			取締役 常務執行役員西日本営業担当 兼 大阪営業部長	川 島	浩 二	
本 社	大阪市北区西天満一丁目2番5号			取締役 総務部長	吉 野	尊 文	
社 員 数	(連結) 159名 (単体) 119名			取締役 (社外)	日比野	俊 彦	
事 業 内 容	自動包装機械及び関連機器の設計・製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売			監査役 (常勤)	住 中	秀 和	
				監査役 (社外)	北 川	和 郎	
				監査役 (社外)	中 西	清	

事業所		(2018年4月1日現在)		グループ会社	
本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618			■日伊包装株式会社	
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル7階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007			■株式会社ウイスト	
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472			■Mutual (Thailand) Co., Ltd.	
福岡営業所	〒811-3217 福岡県福津市中央二丁目23番14号 TEL.(0940)35-8123 FAX.(0940)35-8124			■三晴精機株式会社	
富山営業所	〒930-0083 富山市総曲輪一丁目5番24号 TAMURA BUILDING5階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338				
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970				
東京技術センター 粉体ラボセンター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752				
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531				